

## 知恵ある者は知恵を出し、知恵なき者は汗を出せ

－受験生の夏休みの過ごし方－

開倫塾

塾長 林明夫

1. 夏休みは入試の天王山。この夏をいかにすごすかで、来春の合否が決まるといっても過言ではありません。そこで、今回は効果のあがる夏休みの過ごし方について考えてみましょう。

### 2. 目標を明確にしよう。

何事も目標が大切です。明らかな目標のもとに行動するのと、ただ何となく時間を過ごすのでは、その結果が全く異なります。何を目標として夏休みをすごすのかを、まず明確に決めて下さい。

※開倫塾の塾生の皆さんは、非常に優秀ですので、将来必ず職場や地域社会のリーダーになるものと信じます。家庭でもそうですが、人々が行動する場合には一定の目標の下に行動した方がその行動に活力が生まれ、各自が生き生きとした自己実現ができます。どのような目標を設定するかも問題となりますが、塾生の皆さんは目標をもって一つ一つの行動をする「クセ」を今のうちから身につけ、充実した人生を送っていただきたく思います。目標が決まれば、そのためにどうしたらよいか、という「手法」「手段」はおのずと決まってきます。

### 3. 夏休みまでに何をすべきか。

「夏休みになったら勉強すればよい」と考えていたら大間違いです。夏休みまでに今日から何をどうしたらよいか考えてみて下さい。期末試験が終了して、頭がかなり勉強中心になってきたと思われるので、そのまま一定の科目にしばらくこんで勉強を継続することも効果的です。「夏休みまでに1科目終してやろう」でもいいし、「1科目中の1分野だけでもいいから終してやろう」でもいいのです。一番いいのは、各科目とも1学期の勉強のうちやり残したものを集中的に終了させることです。とりわけ、期末試験で十分勉強できなかったところにまとをしぼりこんで、集中学習して下さい。一度勉強したところなので今度は以前やったよりはよくわかると思います。

※持病があったら早目に治療を受けて下さい。メガネの必要な人は眼科に相談に行くこと。虫歯のある人は夏休みまでに治療してもらうこと。受験生としてあたりまえのことです。

### 4. 夏期講習会までに何をすべきか。

開倫塾の夏期講習会は今3年生は7月22日からスタートします。なるべく早目に、学校の宿題、課題を終了させて下さい。プールに何回か行かねばならない人は午前中プールに行って体をきたえて下さい。部活は夏休みが始まるまでに十分やって下さい。やりたいこと、学校で与えられた宿題、課題は夏休みが始まってから数日のうちに終了させるのが、ポイントです。できたら、夏期講習会のテキストの予習を各科目とも数回分終わして下さい。

## 5. 夏期講習中はどのようにすごすべきか。

「7月22日から自分は受験生になる」と自分自身に言いきかせて下さい。自分の行きたい高校が各自の「一流校」です。「一流校に入る」という夢を実現するために効率的に時間を使いましょう。

午前中と夜は、講習会のテキストの予習と復習に専念して下さい。朝は何時から何時までやるのが適切か、夜はどうか、などということは人によって異なりますから、自分で自分の根気と学力と相談しながら決めて下さい。誰も強制することはできません。自分で決め、自分の責任で実施すべきです。

## 6. お盆中はどのようにすごすべきか。

「自分は受験生だ」と自覚すれば、お盆中であろうと机に向かうべきことは当然です。夏期講習のテキストのうちやり残した問題や、よく理解できなかったところ、間違った問題をもう一度やり直すことが最も効果的です。家族みんなが、親せきまわりや旅行に出掛けている間、家で一人で机に向かう姿は美しいものです。誰もいない家の中で、一日でもいいから朝から晩まで勉強をしてみてください。意外と勉強というものは面白いものだということが実感できます。

※ 8月7日(金)には一息いれてもらうために、東京ディズニー・ランドにJRの「伊豆の踊子号」でつれていきます。よい気分転換になると思いますので希望者はどうぞ。

## 7. 8月後半の一週間は8月分授業に出席して下さい。

8月分授業は夏期講習のパートⅡだと考えて下さい。期間中は、授業の予習、復習を十分して下さい。夏期講習もそうですが、開倫塾のカリキュラムは、懐石料理と同じように絶妙のタイミングでいろいろな内容(料理)が出てくることで教育関係者から高い評価を頂いております。夏休みの後半の学習内容はこれしかないというものが、用意されています。十分味わって栄養をつけて下さい。それには、休まず出席することと、予習・復習が不可欠です。夏期講習と同様、8月分授業の間も他の勉強を入れず、開倫塾の授業に集中して下さい。

## 8. 夏休み最後の一週間のすごし方

学校の宿題や課題の残りや、開倫塾8月分授業でやり残した問題、間違った問題をもう一度やり直して下さい。友だちや親せきの家を訪れたり、小さな旅行に行くのも面白い。勉強中心の夏休みをふりかえりながら、夏の終りの何日かを大切にすごして下さい。

## 9. リフレッシュの仕方を身につけよう。

いくら受験生とはいえ朝から晩まで夏休みの間中休みなく勉強していたのでは、効率よく学習内容が頭に入らないばかりか、記憶の根拠も定着しません。何分かに一度は休みを入れると同時に、一日に何回かは身体を動かし運動をしましょう。同時に日曜日は完全に休み、勉強のことは一切考えないことも大事です。遊ぶときには遊び、勉強するときには一所懸命勉強すること。どのようにリフレッシュするかは人によって異なります。早く自分なりのリフレッシュの仕方、疲れた場合の体調の整え方を身につけて下さい。

※ 精神と肉体の管理は自分自身で行う「クセ」をもうそろそろ身につけるべきです。イライラやストレスがたまらないようにどうしたらよいか、自分で考えて下さい。「健康管理を自分で行えること」は、とても大事なことです。

10. 知恵あるものは知恵を出し、知恵なきものは汗を出せ

暑い夏ですが、どうか自分なりの目標をもち全力を尽してもらいたい。勉強ができるとか、できないとかいうのは、頭がよい・悪いではなく、その分野をやったか、よくやっていないかだけです。人間の能力は平等なのですから、不足している分野は歯をくいしばって「汗を出し」自分のものとして下さい。

健闘を祈ります。

11. この10月18日の実用英語検定2級・3級・4級受験希望者は開倫塾の英語科の先生の指導のもと7月10日すぎから勉強をスタートさせて下さい。遠慮は不要です。どんどん先の級まで挑戦して下さい。